

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
中学校	田辺市立 衣笠中学校	嶮口 善一
学校所在地		
(〒 646 - 0215) 和歌山県 田辺市中三栖147-1 Tel 0739 (34) 0014 fax 0739 (34) 0365		
担当者名	役職名・担当教科	
前 進平	教諭・社会科	
<p>〔学校の概要〕</p> <p>衣笠中学校は田辺市の中山間地域に位置し、本年度の全校生徒は224名の中規模校です。校区には中辺路の入り口に当たる万呂王子や三栖王子、潮見峠などがあり、熊野古道との関わりの深い地域である。</p> <p>近年は住宅開発にともなう人口流入が続いており、次世代を担う若者と地域社会との関わりや地域の伝統や文化の継承などに関しての学校教育への期待は大きい地域である。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 1年生 65名	6名 職員 4名	本校・熊野古道
実践研究テーマ		
生徒自らが問いをもち、課題解決思考力を育む授業づくり ～教科横断的な課題解決学習の在り方～		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	地域学習 熊野古道と私たち	
<p>〔キーワード〕 世界遺産学習 地域学習 熊野古道</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <p>①地域の重要な文化遺産である熊野古道の概要と歴史を知る。</p> <p>②私たちが住む万呂・三栖地域と熊野古道の関わりを知る。</p> <p>③地域の産業と熊野古道の関わりについて考える。</p>		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 10時間（現地学習を除く）（「 地域学習 熊野古道と私たち 」 10時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 和歌山県世界遺産センター 田辺市熊野ツーリズムビューロー 		

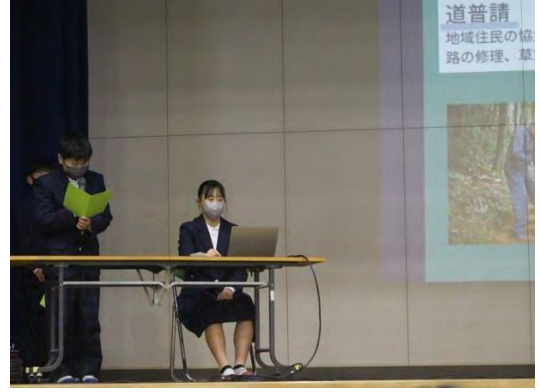
実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	事前学習 (1) ガイダンス (本校) (2) 世界遺産講座	・熊野古道学習全体のガイダンス。 ・世界遺産センターの職員から「世界遺産」や「紀伊山地の霊場と参詣道」の概要・歴史についての講義を受けた。	観察・ワークシート
2	(3) 校外学習	・世界遺産マスターの方々にガイドをしていた だきながら、発心門王子～熊野本宮大社の間を 歩いて学習した。	観察・ワークシート
3	(4) 出前授業 (地域の産業と熊野古道)	・南紀熊野ツーリズムビューローの職員から、 熊野古道の観光振興や地域産業との関わり、田 辺市の施策などについての講義を受けた。	観察・ワークシート
4	(5) ～ (6) 調べ学習・学習のまとめ	グループごとに、「世界遺産の概要」「熊野古 道」「熊野古道と地域の産業」「三栖・万呂地 域の熊野古道」などのテーマを担当して調べ学 習を行い、スライドにまとめた。	観察・スライド
5	(10) ～ (11) 学習発表	・学年発表会と全校の学習発表会でスライドを 使って学習発表を行った。	観察
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>地域の重要な文化遺産である熊野古道について詳しく学ぶことで、今までよく知らなかった地域の歴史や文化に対する関心を高めるとともに、文化財の保全や環境保護などについても考えることができた。また、熊野古道を通して地域の産業振興や自治体の働きなどについても学ぶことができた。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>「世界遺産」という視点を通して地域の歴史や文化を学ぶことは、自分たちが住む地域やその歴史に対する誇りや愛着を持つきっかけになった。文化遺産の保全や伝統の継承について学習することで、連綿とつながる歴史を引き継ぐ当事者としての意識を感じることもできた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>「世界遺産」や「紀伊山地の霊場と参詣道」について学ぶことに留まらず、それらの学習を通して地域の歴史を学び、地域社会に参画し、地域の担い手として産業や経済について考えていくための学習にしていきたい。そのためには、地域の様々な機関と連携し、生徒が多様な体験と学びを実現していく必要がある。</p>			

様式 2

令和 5 年度 「次世代育成事業」における学習記録

[概要報告書 学習記録・活動写真]

各学級で、「熊野古道の概要」「熊野三山」「王子社・九十九王子」「校外学習」「世界遺産」「熊野古道と観光産業」「熊野古道を守る取り組み」「万呂・三栖地域の熊野古道」の8つのテーマについて学習した。講義の内容、書籍、資料、インターネットなどを活用して新聞とスライドにまとめた。



熊野古道はどこからどこまで続く道？

- 日本各地から熊野三山を目指す巡礼者が歩いた道
- 平安時代から鎌倉時代にかけて流行

ぜんぶ、熊野古道！
全長 3,000km 以上

熊野三山

熊野本宮大社
熊野那智大社
熊野速玉大社

王子社・九十九王子について

王子社
●熊野三山の御子神をまつる諸神社

九十九王子
●熊野詣の先達を務めた修験者たちが整備した神社
●たくさんを意味するということから付けられた

校外学習 ー私たちが歩いた古道ー

発心門王子

- 最も格式の高い五体王子の一つ
- 「仏の道に帰る心を開く入り口」
- 熊野古道の入口とされている
- ここから先が熊野三山の神域になる

水呑王子

- 古い歴史のある王子社のひとつ
- もとは「内水飲王子」といわれていた
- 江戸時代には「水呑王子」

世界遺産の分類

- 文化遺産…すぐれた価値を持つ遺跡や建物、文化的景観など。
- 自然遺産…すぐれた価値を持つ地形・動植物や自然景観をもつ地域。
- 複合遺産…文化遺産と自然遺産の両方の価値を持っているもの。

日本の文化遺産: 姫路城
日本の自然遺産: 小笠原諸島
ヨーロッパの複合遺産: アトス山

～海外の人たちが熊野古道に行きやすい取り組み～

プランB 1,500円
・語り部と歩く熊野古道ウォーキング
・熊野古道ウォーキング
・周遊バス
・熊野 御印帳プレゼント!

プランA 2,000円
・語り部と歩く熊野古道ウォーキング
・熊野古道ウォーキング
・周遊バス
・熊野 御印帳プレゼント!

熊野には小さな民宿や旅館が多い
⇒予約、決済ができなかった
⇒だから、2010年に熊野トラベルを設立した
独自で予約システムを開発
そのおかげで外国人観光客が海外でも予約できるようになった

道普請

地域住民だけでなく、企業や学校なども道を守る

- ・昔は地元の人々が中心となって修繕活動に取り組んでいました。
- ・しかし、高齢化で担手が減少しました。
- ・しかも、観光客が増加し道普請をする必要が高くなっていました。

衣笠校区の熊野古道

③ 拾木の杉

- 安珍清姫伝説ゆかりの巨木
- 標高500mの高所にあり、田辺湾を一望することができる
- 上野地区にあり田辺市の指定天然記念物に登録されている